



特集

子どもの「食」を支えよう

広がるフードバンクの輪 🌻 🌻



こども食堂 の喜びの声

ひまわりのような 子どもたちの笑顔を守る

「キラキラ輝く、ひまわりのような子どもたちの笑顔が何より大事ななんです。」こう話すのは、明照保育園の中島園長。3年前に、こども食堂「おとなりさん」を開設しました。

「利用者の中には、さまざまな事情で食事に困っている家庭や、夕食を一人でとらざるを得ない子どももいます。」と中島園長は言います。こうした支援の必要な子どもの情報は、市や学校から連絡を受けることもあり、子どもは無料で食事をすることができます。また、ここには、子どもと2人だけの食卓は寂しいとやって来る家族もいます。「1人で食べるより、大勢で食べた方が楽しく、おいしく食べることができま



社会福祉法人 明照保育園
園長 中島 章裕さん

こども食堂「おとなりさん」を取材したこの日、メニューに使われた米は、フードバンクで受け取った物。お代わりは自由になっていて、子どもたちは2杯目、3杯目と競うようにお代わりします。「フードバンクから食品を提供してもらえるおかげで、子どもたちに充実した食事を提供できます。ここで食事をした子どもの中には『久しぶりにお腹いっぱい食べた。』と話す子もいて、食を通じて子どもを支えることができていると感じています。」と話す中島園長。笑顔で食事をしている子どもたちを嬉しそうに見つめていました。



フードバンクの食品を募集します

家庭にある食品を集め、食事の支援をしている団体や個人へ提供します。

対象 賞味期限までに、おおむね2か月以上ある保存食品（缶詰など）、調味料、お菓子など

その他 支援対象者へ配布する際に使用する紙袋なども寄付可。寄付できる物など詳細はホームページ参照

申込み 8/4(火)～9/4(金)に直接、職員会館、こども未来政策課、各窓口センター、各地区市民館、各地域福祉センター

問合せ こども未来政策課 (☎ 51・2325)

〒77106

